



《今回は防災グッズについて考えます》

1. 防災グッズとは

浸水の恐れが少ない新町でも、巨大地震が起これば、家の倒壊等により避難を余儀なくされます。また避難に至らなくても、ライフライン（電気ガス水道など）は確実に止まるでしょう。

これを想定し、避難時に持ち出す必要最低限の非常持出品（3日間自力で生き延びるのに必要なもの）と、避難生活が長引いた場合必要になる備蓄品（少し落ち着いてから家に取りに帰る備蓄食料や飲料水、さらに4日分）の2種類の防災グッズを用意しておきましょう。

非常持出品はすぐに持ち出せるよう、必ず枕元に置いておきましょう。非常時に持てる重量は、一般に成人男性で約15kg、女性で約10kgと言われていますが、個人差がありますので、実際に背負って避難所まで歩いてみるとよいでしょう。



参考:必要最低限の品物リスト一覧

- | | | | |
|---------|---|--------------|--|
| 1 非常袋 | 両手をふさぐことのないよう少し大きめのリュック型が最適。 | 10 万能ナイフ | ハサミ、ナイフ、缶きり、栓抜きなどの能がある万能ナイフが1つあると便利。 |
| 2 飲料水 | 1人1日3リットルが必要と言われるが、重量から1リットル程度が妥当。500ml用のミニボトルを分けておく。 | 11 雨具 | 長い傘は不向き。傘なら軽量折りたたみタイプ。雨合羽なら両手が空くし防寒具にもなる。 |
| 3 非常食 | カンパンや長期保存ビスケット、チョコレートなど。 | 12 タオル | 怪我の手当てや汚れ拭きなど。下着の代用、防寒対策にもなるので数枚用意。 |
| 4 懐中電灯 | 明るく使用時間が長いLEDライトがよい。予備電池も必ず用意。 | 13 ポリ袋 | 小物入れ、水入れなど用途大。大小10枚程度。レジ袋でもよい。 |
| 5 携帯ラジオ | イヤホン専用でなく、スピーカー対応のものがよい。予備電池も必ず用意。 | 14 トイレットペーパー | 水が使えないときのことも考え、ウェットティッシュなども併せて用意しておく。 |
| 6 貴重品 | 現金（公衆電話用の硬貨も必要）、保険証、運転免許証、通帳（コピーを控えておく）、印鑑、携帯電話（手巻き式充電器を含む）、予備のメガネなど。 | 15 ガムテープ | 丈夫な布テープはメモ（伝言等）を書くことができる。 |
| 7 救急袋 | マスク、消毒薬、絆創膏、ガーゼ、包帯、三角巾など。常備薬・持病薬も。 | 16 軍手・手袋 | 熱に強い綿100%の軍手とガラス片処理用革手袋の2タイプ用意しておく。 |
| 8 着替え | 下着類、靴下などを数枚用意。 | 17 簡易トイレ | 非常時において、トイレにいけないことはかなり深刻。市販されている袋型のものを備えておきたい。 |
| 9 筆記用具 | 油性マジックは必須。メモ帳、ボールペン | 18 レジャーシート | 避難先の場所確保(1人あたり1畳程度)などに便利。 |

2. 防災グッズの購入・点検

防災グッズは家族構成や個人（女性や高齢者、障害者など）によって違ってくるので、自分に合ったものを、必要な分だけ用意しましょう。一人用、二人用、女性用、ファミリー用など、利用者に合わせてセット販売がされているので、それを利用するのもよいでしょう。また、定期的（1年に2回が目安）にチェックし、食料品・飲料の賞味期限、薬品や電池の使用期限などで、古いものや期限が切れそうなものは新しいものに交換しましょう。



新町自主防災について



I・講演会

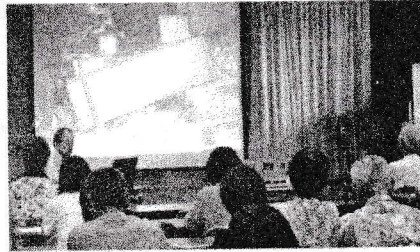
室内の地震対策

8月23日 市民館にて

たくみ設計室 鈴木啓之 日本住宅耐震協会 愛知支部長

現場を見たからこそ、私は伝えたい!!

*** 食糧を備蓄する前に
命を守る対策を ***

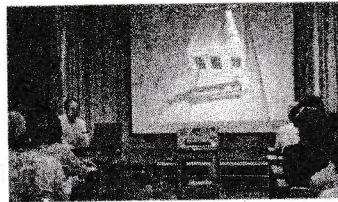


家(室内)の何処が安全か
何処が危険か、家具の怖さと
家具の固定方法を語る鈴木さん
(冷蔵庫は暴れん坊さん、固定をしましょう)



壁にビスを実際に
ドライバーで締め付け
垂木が有るか確認
垂木のある場所は
専用の道具で確認する

(ビスは六角ビスを使うと良い)



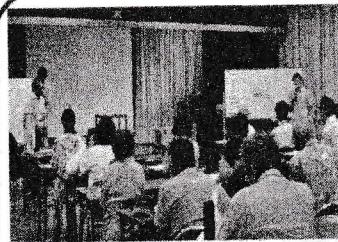
災害時発生時は
電気が使えないから
車から100Vを取り
携帯電話などを充電する

(12Vを100Vに変換する機械です)



鈴木さんの、説明を
真剣に聴きメモを
取っていました。

(参加された皆さんから地域の人へ広げてください)



新町地区自主防災行事に
参加いただきまして
有難うございます

(多くの組員の参加をお願いします
と語る、林新町自主防災を考える会副代表)

* 皆さんの防災対策、防災準備を教えてください。地区委員に、ご連絡をしてください。

II・新町防災アンケート結果 (前号に実施したアンケートの結果です)

アンケート提出者 312人 (新町組会員の23%)

項目	質問	回答	人	%	回答	人	%	回答	人	%
転倒防止の知識	家具と転倒防止器具の選択は?	できる	265	85	できない	39	13	未回答・わからない	8	3
転倒防止の器具	購入場所(どこで買う?)	わかる	288	92	わからない	15	5	未回答・わからない	9	3
	器具の価格への不安?	ない	246	79	ある	56	18	未回答・わからない	10	3
器具の取り付け	自分で?	できる	262	84	できない	39	13	未回答・わからない	11	4

考察

- ・全体として班長の協力が得られ、回収率4分の1弱。
- ・転倒防止への関心やその対策への意識は全体的に高い。
- ・器具(その取り付け代も含むか?)の価格が転倒防止の対応への妨げか。